

施策の評価シート(令和4年度分)

1 計画における位置付け						
政策体系	総合計画	目標	04	心やすらぐ住みよいまちづくり		
	計画	基本政策	09	快適に暮らせる都市空間の形成	管理コード	040930
		施策	30	公共交通の充実	本冊ページ	77
	関連個別計画	第2次津市地域公共交通網形成計画				
担当部局		都市計画部				
施策の内容(番号)		096		~	097	

2 「施策の内容」の総合評価と今後の方向性				
番号	施策の内容	「施策の内容」の総合評価		担当課
		選択区分	今後の方向性 選択区分	
096	利用者のニーズや地域ごとの特性を踏まえ、民間路線バスや鉄道、コミュニティバス、地域住民運営主体型の乗合タクシーなどの連携を図り、効率的で利便性の高いコミュニティ交通システムの整備を推進し、利用を促進します。	A	①	交通政策課
097	海上アクセス航路については、三重県、運航事業者、中部国際空港等と連携したPR活動やサービスの向上に取り組み、本市のみならず三重県の海の玄関口として、国内各地さらには世界とを結ぶ広域的な交流連携を図るための機能を強化します。	A	①	交通政策課

※「施策の内容」の総合評価…A=80点以上、B=60点以上80点未満、C=40点以上60点未満、D=20点以上40点未満、E=20点未満
 ※今後の方向性…①=効果的な事業構成であるため、方向性を維持、②=概ね効果的な事業構成であるが、一部見直し等の余地がある、③=あまり効果的な事業構成ではないため、見直しの余地が大きい、④=事業構成に問題があるため、抜本的な見直し等が必要

3 「施策」の総合評価			
「施策の内容」の総合評価を根拠とした「施策」の総合評価	区分	選択区分	総評(施策の進捗状況や効果等を端的に記載)
		A 80点以上 B 60点以上80点未満 C 40点以上60点未満 D 20点以上40点未満 E 20点未満	A

※総合評価は、「施策の内容」の総合評価をポイント化したものをベースに自動的に判定しています。

計画期間における達成状況										
年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度
総合評価	B	B	A	A	A					

※計画期間である平成30年度(2018年度)から令和9年度(2027年度)の本施策の内容に関する推移を示します。

施策の内容評価シート(令和4年度分)

1 計画における位置付け

政策体系	総合計画	目標	04	心やすらぐ住みよいまちづくり		
		基本政策	09	快適に暮らせる都市空間の形成	管理コード	040930096
		施策	30	公共交通の充実	本冊ページ	77
	関連個別計画	第2次津市地域公共交通網形成計画(令和2年度～令和6年度)				
	担当部局	都市計画部				
	施策の内容 (第2次基本計画) ※目指す方向性・各事業の実施により期待される効果	096	利用者のニーズや地域ごとの特性を踏まえ、民間路線バスや鉄道、コミュニティバス、地域住民運営主体型の乗合タクシーなどの連携を図り、効率的で利便性の高いコミュニティ交通システムの整備を推進し、利用を促進します。			

2 「施策の内容」に係る主な事業の評価(事務事業評価)

番号	事業名	事業の内容	事業の目的		事業の評価		事業の振り返りとこれから (実施評価、事業評価、今後の方向性を選んだ理由)
			効	誰	◆ 当初の事業実施計画	◎ 実施評価	
	担当課		何	誰のための事業か	◇ 事業評価の主な視点	◎ 事業評価	
			何	何のための事業か	決算額 (千円)	今後の方向性	
096-1	交通政策関係事業	コミュニティ交通システムの整備	効	公共交通を維持することで、市民の日常生活に必要な移動手段を確保することができる	◆ 日常生活における移動手段の確保	◎	燃油価格高騰の影響を受ける路線バス運行事業者に対し、支援を行った。また、津市コミュニティバスにおいて、運行事業者や利用者の意見を反映しながら、停留所の新設やダイヤ変更等を行ったことで、利便性の向上を図ることができたため「◎」とした。今後も引き続き、地域住民の声をしっかりと聴きながら、利便性の向上に努める。
	交通政策課		誰	市民	◇ 一般路線バス等の維持及び利便性の向上	◎	
096-2	伊勢鉄道支援事業	伊勢鉄道の施設設備の整備に対する支援	効	施設設備の整備に対する支援を県と沿線等15市町で行うことで、伊勢鉄道株式会社が安全運行を確保し、自律的経営を継続することができる	◆ 施設設備の整備に対する支援の実施	◎	計画通り伊勢鉄道に対して支援を実施することができたので「◎」とした。施設設備のほか、新型コロナウイルス感染症の影響で厳しい経営状況となっていることから、県と沿線市町等が協調して運行継続を支援した。今後も引き続き、必要に応じて適切な支援を実施していく。
	交通政策課		誰	伊勢鉄道株式会社	◇ 県と沿線等15市町で実施した支援額	◎	
096-3			効		◆		
			誰		◇		
096-4			効		◆		
			誰		◇		
096-5			効		◆		
			誰		◇		
			何		(千円)		

施策の内容評価シート(令和4年度分)

096-6	効	◆	
	誰	◇	
	何	(千円)	
096-7	効	◆	
	誰	◇	
	何	(千円)	
096-8	効	◆	
	誰	◇	
	何	(千円)	
096-9	効	◆	
	誰	◇	
	何	(千円)	
096-10	効	◆	
	誰	◇	
	何	(千円)	

※実施評価(計画どおり実施したか)…◎=計画を達成(100%以上) ○=概ね計画どおり(80%以上~100%未満) △=計画を下回った(50%以上~80%未満) ×=計画を大きく下回った(50%未満)

※事業評価(効果があったか)…◎=大いに効果が認められる ○=ある程度の効果が認められる △=あまり効果がなかった/事業完了前につき効果の発現に至っていない ×=効果を測定できない

※今後の方向性…(さらなる)拡充・充実、現状維持、見直し、廃止、完了

3 「施策の内容」の総合評価		
	区分	選択区分
実施評価・事業評価を根拠とした「施策の内容」の総合評価	A 80点以上	A
	B 60点以上80点未満	
	C 40点以上60点未満	
	D 20点以上40点未満	
	E 20点未満	

4 今後の方向性		
	区分	選択区分
今後の施策の内容の方向性	① 効果的な事業構成であるため、方向性を維持	①
	② 概ね効果的な事業構成であるが、一部見直し等の余地がある	
	③ あまり効果的な事業構成ではないため、見直しの余地が大きい	
	④ 事業構成に問題があるため、抜本的な見直し等が必要	

※総合評価は、主な事業の実施状況(実施評価)、事業対象者への効果(事業評価)の評価をポイント化したものをベースに自動的に判定しています。

※今後の方向性は、施策の内容の総合評価および主な事業の今後の方向性をベースに自動的に判定しています。

計画期間における達成状況										
年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度
総合評価	B	B	B	A	A					
今後の方向性	①	①	①	①	①					

※計画期間である平成30年度(2018年度)から令和9年度(2027年度)の本施策の内容に関する推移を示します。

施策の内容評価シート(令和4年度分)

1 計画における位置付け						
政策体系	総合計画	目標	04	心やすらぐ住みよいまちづくり		
		基本政策	09	快適に暮らせる都市空間の形成	管理コード	040930097
		施策	30	公共交通の充実	本冊ページ	77
	関連個別計画	第2次津市地域公共交通網形成計画(令和2年度～令和6年度)				
担当部局		都市計画部				
施策の内容 (第2次基本計画) ※目指す方向性・各事業の実施により期待される効果		097	海上アクセス航路については、三重県、運航事業者、中部国際空港等と連携したPR活動やサービスの向上に取り組み、本市のみならず三重県の海の玄関口として、国内各地さらには世界とを結ぶ広域的な交流連携を図るための機能を強化します。			

2 「施策の内容」に係る主な事業の評価(事務事業評価)

番号	事業名	事業の内容	事業の目的		事業の評価		事業の振り返りとこれから (実施評価、事業評価、今後の方向性を選んだ理由)
			効	誰	◆ 当初の事業実施計画	実施評価 事業評価	
担当課		何	何のための事業か	決算額 (千円)	今後の方向性		
097-1	津なぎさまち管理運営事業	航路の維持向上	効	指定管理者制度により、津なぎさまち内旅客船ターミナルの効率的で、安全性の確保に留意した適正な管理運営を行うことで、安定的な施設の提供ができる	◆ 指定管理者による適正な管理運営の実施及び海上アクセスルートの運航継続	◎	指定管理者制度による施設の適正な維持管理を行うことで、安定的な施設の提供をすることができた。また、新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金を活用して運航事業者へ支援することにより、海上アクセスルートの運航事業の継続及び運航便数が増便されたため「◎」とした。 今後においても施設の適正な維持管理を行うとともに、運航事業者に対して運航便数の増加を要請する。
			誰	施設利用者	◇ 指定管理者による適正な修繕等の実施及び海上アクセス運航事業の継続及び運航便数の増便	◎	
	交通政策課	何	施設の安全安心な利用をすることができる短時間で津なぎさまちから中部国際空港までを往来することができる	107,084 (千円)	拡充・充実		
097-2	伊勢湾ヘリポート管理運営事業	ヘリポートの活用	効	指定管理者制度により、津市伊勢湾ヘリポートの効率的で、安全性の確保に留意した適正なヘリポートの管理運営を行うことで、安定的な航空交通手段の提供ができる	◆ 指定管理者による適正な管理運営の実施	◎	指定管理者制度による施設の効率的で安全性の確保に留意した適正なヘリポートの管理運営を行うことで、安定的な航空交通手段の提供ができたので「◎」とした。 今後も引き続き、効率的で安全性の確保に留意した適正な施設の管理運営を行う。
			誰	航空交通事業者	◇ 指定管理者による適正な修繕等の実施及び安全指標の達成	◎	
	交通政策課	何	ヘリポートの効率的で、安全性の確保に留意した適正なヘリポートの管理運営を行う	1,219 (千円)	現状維持		
097-3			効		◆		
			誰		◇		
			何		(千円)		
097-4			効		◆		
			誰		◇		
			何		(千円)		

施策の内容評価シート(令和4年度分)

097-5	効	◆	
	誰	◇	
	何	(千円)	
097-6	効	◆	
	誰	◇	
	何	(千円)	
097-7	効	◆	
	誰	◇	
	何	(千円)	
097-8	効	◆	
	誰	◇	
	何	(千円)	
097-9	効	◆	
	誰	◇	
	何	(千円)	

※実施評価(計画どおり実施したか)…◎=計画を達成(100%以上) ○=概ね計画どおり(80%以上~100%未満) △=計画を下回った(50%以上~80%未満) ×=計画を大きく下回った(50%未満)

※事業評価(効果があったか)…◎=大いに効果が認められる ○=ある程度の効果が認められる △=あまり効果がなかった/事業完了前につき効果の発現に至っていない ×=効果を測定できない

※今後の方向性…(さらなる)拡充・充実、現状維持、見直し、廃止、完了

3 「施策の内容」の総合評価		
	区分	選択区分
実施評価・事業評価を根拠とした「施策の内容」の総合評価	A 80点以上	A
	B 60点以上80点未満	
	C 40点以上60点未満	
	D 20点以上40点未満	
	E 20点未満	

4 今後の方向性		
	区分	選択区分
今後の施策の内容の方向性	① 効果的な事業構成であるため、方向性を維持	①
	② 概ね効果的な事業構成であるが、一部見直し等の余地がある	
	③ あまり効果的な事業構成ではないため、見直しの余地が大きい	
	④ 事業構成に問題があるため、抜本的な見直し等が必要	

※総合評価は、主な事業の実施状況(実施評価)、事業対象者への効果(事業評価)の評価をポイント化したものをベースに自動的に判定しています。

※今後の方向性は、施策の内容の総合評価および主な事業の今後の方向性をベースに自動的に判定しています。

計画期間における達成状況										
年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度
総合評価	B	B	A	B	A					
今後の方向性	①	①	①	①	①					

※計画期間である平成30年度(2018年度)から令和9年度(2027年度)の本施策の内容に関する推移を示します。

